

## 教育研修部 5 ヶ年計画（案）

2012 年 1 月 6 日作成  
2012 年 1 月 10 日改訂  
2012 年 1 月 15 日再改訂  
2012 年 2 月 20 日再々改訂

### 1 年目 2012 (H24) 年度

#### テーマ：「教育研修部組織化とメタボ化した研修のスリム化」

- ① 時間内外の院内研修の 20%削減
- ② 院外はそのまま継承  
→ “窓口業務” の強化。当面門脇が窓口。
- ③ 院内認定部門：下記 3 つを立ち上げ  
→ 呼吸療法認定士を「呼吸器ケア」  
→ 医療機器院内認定  
→ 化学療法院内認定
- ④ 呼吸療法認定士を年間 3-4 人
- ⑤ 第 3 回院内発表会は concept 継続

### 2 年目 2013 (H25) 年度

#### テーマ：「スリム化」→「肉付け」

- ① 院内研修の更なる整理。  
呼吸器疾患勉強会の講師はほぼ全て呼吸療法認定士が担う。
- ② 松江呼吸器セミナーを  
「呼吸療法認定士」更新ポイント取得可能な研究会へ発展・運営
- ③ 院内認定を増やす
- ④ 肺疾患懇話会の見直し（開催回数削減もしくは協賛による宣伝力強化など）
- ⑤ 呼吸療法認定士を年間 5 人
- ⑥ 第 4 回院内発表会：未発表の研究・業務改善のみの採用

希望：専門職員の増員。特に事務職。

### 3 年目 2014 (H26) 年度

#### テーマ：「4 部門一貫したテーマを持って運営」

- ① 院外研修も年間を通したテーマに則って打ち立てる

→できれば院内研修とも collaboration

- ②院内研修（時間外）を部分的に一般開放（数回）
- ③院内認定をさらに増やす
- ④ 認定看護師による研修を行う（②とも関連）
- ⑤ 呼吸療法認定士を年間5人以上
- ⑥ 松江呼吸器セミナーを  
「呼吸療法認定士」更新ポイント取得可能な研究会として年1回運営
- ⑦ 教科書の企画
- ⑧ 第5回院内発表会：研究・業務改善発表以外に  
「新たに立ち上げる研究の concept 発表」を行う

希望：予算をつける

#### 4年目 2015 (H27) 年度

テーマ：「開かれた教育研修へ」

- ① 院内研修（時間外）を部分的に一般開放（少し回数を増やす。有料。）
- ② 松江呼吸器セミナーの“実習版”（リハビリや排痰介助など）を開催  
→当院呼吸療法認定士による企画・運営
- ③ 看護以外の領域にも院内認定を検討
- ④ 呼吸療法認定士を年間5人以上
- ⑤ 松江呼吸器セミナーを  
「呼吸療法認定士」更新ポイント取得可能な研究会として年1回運営
- ⑥ 教科書について具体的に実行
- ⑦ 第6回院内発表会：concept 継続

#### 5年目 2016 (H28) 年度

テーマ：「教科書をつくる！」

- ① 2015年度の事業継続。
- ② 教科書出版
- ③ 教育部門の作り方についての書籍出版

文責 教育研修部長：門脇 徹